

条件反射制御法 オンライン研修会シリーズ3 日程表

日程： 3-1 2022年5月21日(土) 午前 3-2 2022年5月21日(土) 午後

3-3 2022年5月28日(土) 午前 3-4 2022年5月28日(土) 午後

主催・運営：条件反射制御法学会

講師：平井慎二（独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター 精神科医師）

日程	時間	講義
3-1 5月21日	9:30～	受付
	10:00～	1. 行動原理と反復行動の成立（第一信号系と第二信号系およびその関係）
	10:50～	休憩
	10:55～	2. 第一信号系の特性（遺伝と獲得の差異、生育環境、季節に基づいた特性）
	11:20～	休憩
	11:25～	3. 反復行動に対応する要素と関係機関の受け持ち（CRCT と他の働きかけの標的）
	11:50～	質疑応答
3-2 5月21日	12:30～	受付
	13:00～	4. 条件反射制御法の基本とステージ進行（疾病状態への対応性と安全性）
	13:25～	休憩
	13:30～	5. 体験書き出しと後の読み返しと20単語羅列（過酷な体験に基づく過敏性の制御）
	14:00～	休憩
	14:05～	6. 制御刺激ステージ（制御刺激、良かった体験の書き出し）
	14:50～	質疑応答
3-3 5月28日	9:30～	受付
	10:00～	7. 疑似ステージ（標的の反射連鎖における最終部分の抑制、辛かった体験の書き出し）
	10:50～	休憩
	10:55～	8. 本能行動の過剰な作動に対する技法の調整（万引き、痴漢、PTSD などへの対応）
	11:25～	休憩
	11:30～	9. さまざまなサティスフェイク（疑似注射、疑似薬、万引きのための疑似店舗など）
	11:50～	質疑応答
3-4 5月28日	12:30～	受付
	13:00～	10. 想像ステージ（標的の反射連鎖全体の抑制、体験の読み返しと20単語の書き出し）
	13:50～	休憩
	13:55～	11. 維持ステージ（低頻度での治療作業の継続）
	14:10～	休憩
	14:15～	12. 本当の行動メカニズムに適った技法と司法（誤解による擬人化と中枢一個主義）
	14:50～	質疑応答

プログラム内容は変更されることがございます。